

参考文献

展覧会図録 [国際交流基金]
展覧会図録 [福岡市美術館・福岡アジア美術館]
展覧会図録 [The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art]
展覧会図録 [シンガポール・ビエンナーレ]
報告書 [国際交流基金]

展覧会図録 [国際交流基金]



アセアン漫画展：想像力とドキュメントの東南アジア'89-'90

Publisher(s):

国際交流基金アセアン文化センター
1990

Dates:

1990年1月25日 - 2月7日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリーにて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アジア現代美術シリーズIII タワン・ドゥチャネー展：タイー究極の聖性への希求

Editor(s):

福岡市美術館

Publisher(s):

福岡市美術館
1990

Dates:

1990年2月6日 - 3月23日

福岡市美術館開催のアジア現代美術シリーズの第3弾。同作家は、2001年に福岡文化賞を受賞。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



物語の棲む杜ーアセアンの現代美術

Editor(s):

国際交流基金アセアン文化センター

Article(s):

『アセアン現代美術』の困難な旅
後小路雅弘

Publisher(s):

国際交流基金アセアン文化センター
1990

Dates:

1990年2月21日 - 26日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリーにて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



伝統一インスピレーションの源泉：第1回アセアン美術シンポジウムから

Editor(s):

福岡市美術館（後小路雅弘）、国際交流基金アセアン文化センター（古市保子）

Article(s):

伝統の誘惑

後小路雅弘

『第1回アセアン美術シンポジウム』の経過

サイド・アフマド・ジャマル

Publisher(s):

福岡市美術館、国際交流基金アセアン文化センター

1990

Dates:

福岡市美術館：1990年5月2日- 6月17日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリー：1990年6月23日 - 7月15日

第一回アセアン美術シンポジウム開催に伴い刊行されたカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



ブルネイの人々と自然：ブルネイ写真展

Editor(s):

国際交流基金アセアン文化センター

Publisher(s):

国際交流基金アセアン文化センター

1990

Dates:

1990年10月20日 - 1990年11月2日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリーにて行われた写真展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)で閲覧できます。



タン・チン=クアン「陳振権」展：マレーシアー悲劇の舞台・美術

Article(s):

タン・チン=クアン

画が人を驚かさなければ、死んでも安じられない！

柴田勝則

悲劇の舞台芸術

Publisher(s):

福岡市美術館

1990

Dates:

1990年12月11日-1991年2月11日

福岡市美術館にて開催された第4回アジア現代作家シリーズ展のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)で閲覧できます。



変貌する社会の新世代：シンガポール現代美術2人展

Editor(s):

国際交流基金アセアン文化センター

Article(s):

したたかな人間観の表れ

中村英樹

シンガポールにおける現代美術の状況

ベート・ヨック・クアン

Publisher(s):

国際交流基金アセアン文化センター

1990

Dates:

1990年12月13日 - 1990年12月26日

国際交流基金アセアン文化センターにて行われた2人展（ベート・ヨック・クァンよおびリム・ポー・テック）の展覧会カタログ。
キュレーター：中村英樹

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



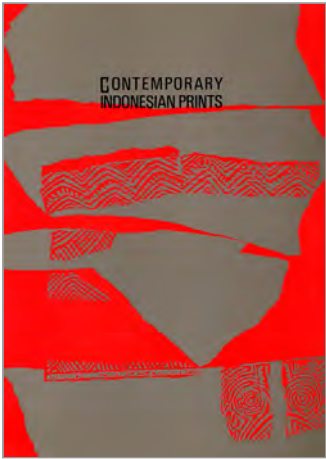
第2回アセアン漫画家展：1990年のひとコマストーリー

Publisher(s):
国際交流基金アセアン文化センター
1991

Dates:
1991年1月23日 - 1991年2月6日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリーにて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



インドネシア現代版画展

Editor(s):
国際交流基金アセアン文化センター（古市保子）

Article(s):
インドネシア現代美術の誕生
サネント・ユリマン
インドネシアの現代版画
スティアワン・サバナ

Publisher(s):
国際交流基金アセアン文化センター
1991

Dates:
国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリー：1991年2月9日 - 1991年2月24日
三重県立美術館：1991年5月10日 - 6月16日
北海道立函館美術館：1991年11月10日 - 1991年12月8日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリー、三重県立美術館、および北海道立函館美術館にて行われた展覧会カタログ。
キュレーター：スティアワン・サバナ

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



フィリピン現代美術：エドガー・タルサン・フェルナンデス展

Editor(s):
国際交流基金アセアン文化センター（柿沼勉）

Article(s):
出自に根差す人間の再生
中村英樹
フィリピン現代美術の紹介
アリス・G・ギリエルモ

Publisher(s):
国際交流基金アセアン文化センター
1991

Dates:
1991年7月9日 - 1991年7月21日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリーにて行われた個展のカタログ。キュレーター：中村英樹

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



モンティエン・ブンマー：タイ現代美術のニューフェイス：土で描かれたパゴダ&コスモス

Article(s):

タイの現代とスパークするモンティエン
谷新
作家のことば
モンティエン・ブンマー
タイ現代美術と伝統
アヌヴィット・チャルンスパクン

Publisher(s):

国際交流基金アセアン文化センター
1991

Dates:

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリー：1991年10月16日 - 1991年11月3日
三菱地所アルティアム（福岡）：1992年1月3日 - 1992年1月26日

国際交流金アセアン文化センター・ギャラリーおよび三菱地所アルティアムにて行われた個展のカタログ。キュレーター：中村英樹

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



第3回アセアン漫画家展：漫画に見る各国の都市事情

Editor(s):

国際交流基金アセアン文化センター

Publisher(s):

国際交流基金アセアン文化センター
1992

Dates:

1992年2月6日 - 1992年2月23日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリーにて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



マレーシア現代美術展：美術に見るマレーシアの今

Editor(s):

国際交流基金アセアン文化センター（柿沼勉）

Article(s):

細やかな揺らめきを湛えて
中村英樹
マレーシア現代美術
レッザ・ピヤダサ

Publisher(s):

国際交流基金アセアン文化センター
1992

Dates:

1992年3月18日 - 1992年4月5日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリーにて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



花宇宙：生命樹の染め・織り・飾り展

Editor(s):
東南アジア祭'92実行委員会

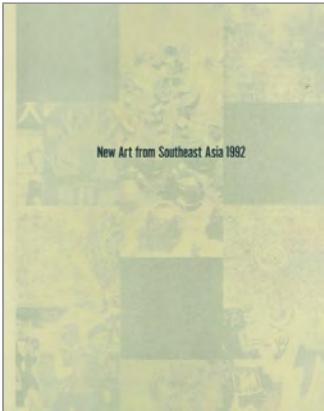
Article(s):
人が樹となり、花となる
杉浦康平
花咲く樹が語るもの
杉浦康平
「花文様、樹文様」
岩田慶治
「樹、かぎりなしその恵み」
T. C. マジュプリア（西岡直樹訳）
「樹木と山の多彩な変幻」
R. マックスウェル（近藤智子、加賀谷祥子訳）
「生命の樹の意味空間」
土屋健治
「タイにおける生命の樹」
S. シーマトラン（S. ラービセーバン、赤木攻訳）
「バーイシー・スークアンへの旅」
後藤多聞
「樹による、花と化す」
切畑健
「瑞祥の『花』、循環する生命」
郡司正勝

Publisher(s):
NHKエンタープライズ
1992

Dates:
福岡市博物館：1992年8月11日 - 8月23日
ラフォーレミュージアム原宿：1992年9月13日 - 1992年9月24日
アルパーク天満屋（広島）：1992年9月30日 - 1992年10月5日
キリンプラザ大阪：1992年11月18日 - 1992年11月29日

福岡、東京、広島、大阪の4都市を巡回したグループ展のカタログ。
キュレーター：杉浦康平・後藤多聞

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



「美術前線北上中」展：東南アジアのニュー・アート

Editor(s):
古市保子、後小路雅弘

Article(s):
ファジー人間の覚醒
中村英樹
自分探しの迷宮ー東南アジア美術、80年代から90年代へ
後小路雅弘
現代美術の"アジア学"ヘーインデックス
谷新

Publisher(s):
国際交流基金
1992

Dates:
東京芸術劇場展示ギャラリー：1992年9月29日 - 1992年9月25日
福岡市美術館：1992年9月29日 - 1992年11月29日
広島市現代美術館：1992年10月31日 - 1992年11月29日
キリンプラザ大阪：1992年12月2日 - 1992年12月13日

東京、福岡、広島、大阪の4都市を巡回したグループ展のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



第4回アセアン漫画家展：漫画に見る変わりゆくアジア

Editor(s):
国際交流基金アセアン文化センター

Publisher(s):
国際交流基金アセアン文化センター
1993

Dates:
1993年5月27日 - 1993年6月13日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリーにて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



カオスと向きあう絵画の諸相：日本・シンガポール現代美術展

Editor(s):
国際交流基金アセアン文化センター（古市保子）

Article(s):
さまよえる視点
中村英樹

Publisher(s):
国際交流基金アセアン文化センター
1993

Dates:
1993年7月6日 - 1993年7月25日

国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリーにて行われた展覧会のカタログ。
キュレーター：中村英樹

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



ビヨンド・ザ・ボーダー：境界を越えて：日本・タイ現代美術展

Article(s):
Beyond the Border
谷新

Publisher(s):
国際交流基金アセアン文化センター
1993

Dates:
P3 art and environment: 1993年12月9日 - 1993年12月26日
シラパコーン大学アート・ギャラリー：1994年2月14日 - 1994年2月27日

東京およびバンコクにて行われた展覧会カタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



第5回アセアン漫画家展：漫画でみる私の国

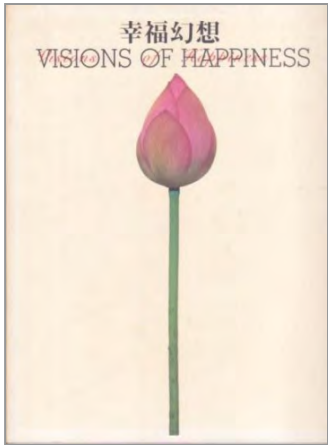
Editor(s):
国際交流基金アセアン文化センター

Publisher(s):
国際交流基金アセアン文化センター
1994

Dates:
1994年10月20日 - 1994年11月7日

国際交流基金フォーラムにて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



幸福幻想：アジアの現代美術作家たち

Editor(s):
古市保子

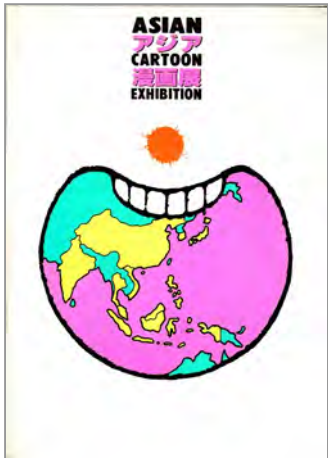
Article(s):
幸福幻想
清水敏男

Publisher(s):
国際交流基金アセアン文化センター
1995

Dates:
1995年2月25日 - 1995年3月26日

国際交流基金フォーラムにて行われた展覧会のカタログ。
キュレーター：清水敏男

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アジア漫画展：漫画でみる「アジアの女性」

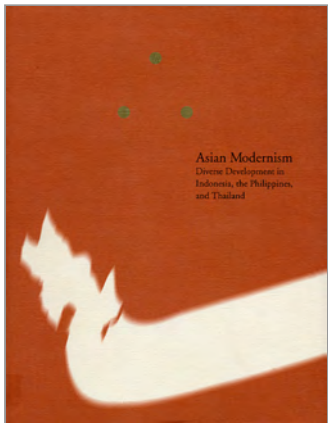
Editor(s):
国際交流基金アジアセンター準備室

Publisher(s):
国際交流基金アジアセンター
1995

Dates:
1995年7月18日 - 1995年8月10日

国際交流基金フォーラムにて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アジアのモダニズム その多様な展開：インドネシア、フィリピン、タイ

Editor(s):
古市保子、中本和美

Article(s):
アジアのモダニズム展によせて
石井米雄
批評としての美術
建畠哲
インドネシアにおけるモダニズムの出現とその背景
ジム・スパンカット
〈迷い子〉のささやき――リアリズムの系譜
水沢勉
フィリピンにおけるモダンアートの歴史
アリス・G・ギリエルモ
バンコクーチェンマイ モダンの在処
塩田純一
タイにおけるモダンアートの歴史
ソンボーン・ロップーン
東南アジアにおける近代
白石陸

Publisher(s):
国際交流基金アジアセンター
1995

Dates:
国際交流フォーラム：1995年10月28日 - 1995年12月3日
マニラ・メトロポリタン美術館：1996年2月6日 - 1996年3月6日
国立美術館（タイ）：1996年5月8日 - 1996年5月28日
インドネシア教育文化省美術ギャラリー：1996年6月28日 - 1996年7月1日

東京、マニラ、バンコク、ジャカルタの4都市を巡回した展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



方力鈞：物語なき時代の人間像

Editor(s):

古市保子、中本和美

Article(s):

空間のエロス

建畠哲

方力鈞とシニカル・リアリズム

栗憲庭

方力鈞とその芸術

ペール・ホヴドゥナック

思い出すこと

方力鈞

Publisher(s):

国際交流基金アジアセンター

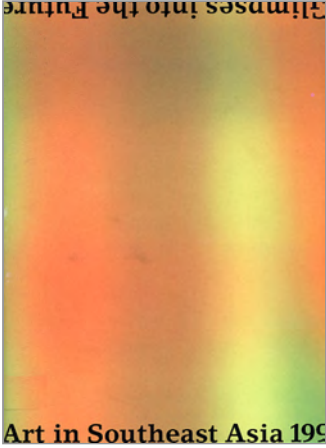
1996

Dates:

1996年11月2日 - 1996年12月1日

国際交流基金フォーラムにて行われた展覧会のカタログ。
キュレーター：建畠哲

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



東南アジア：来るべき美術のために

Editor(s):

石田哲朗、塩田純一、熊谷伊佐子（東京都現代美術館）、福永治、岡本芳枝（広島市現代美術館）

Article(s):

東南アジアから--来たるべき美術のために

塩田純一

東南アジアー美術の現在

福永治

インドネシアの現代美術ー1970年代以降の展開

ジム・スパンカット

Publisher(s):

東京都現代美術館、広島市現代美術館、国際交流基金アジアセンター

1997

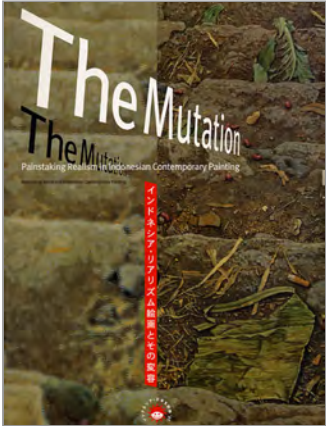
Dates:

東京都現代美術館：1997年4月12日 - 1997年6月1日

広島市現代美術館：1997年8月2日 - 9月15日

東京および広島にて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



インドネシア・リアリズム絵画とその変容

Article(s):

リアリズムの変容：フォト・リアリズム論争の検証

ジム・スパンカット

ジョクジャカルタ都市にすむ夢

後小路雅弘

インドネシア現代絵画におけるリアリズム

ジム・スパンカット

Publisher(s):

国際交流基金

1997

Dates:

1997年8月23日 - 1997年9月7日

国際交流基金フォーラムにて行われた展覧会のカタログ。
キュレーター：ジム・スパンカット

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



予兆：アジアの映像芸術展

Editor(s):

古市保子、石神森、帆足亜紀

Article(s):

見えないものが棲むところ

港千尋

アジアにおける実験映画ワークショップ

クリストフ・ヤネツコ

タイにおける実験映画、およびビデオ・インスタレーションのあり方

クリッティヤー・カーウィーウォン

韓国のビデオ・アートとシャーマニズム

イ・ウォンコン

集団的記憶のシステム、国家の肖像—CASAドキュメンテーション・センター

アシム・ゴーシュ

中国現代美術における写真

ロン・リン

空間の挑戦：インドネシアの写真 1841-1999

ユディ・スルジョアトモジョ

Publisher(s):

国際交流基金アジアセンター

2000

Dates:

2000年1月15日 - 2000年2月19日

国際交流基金フォーラムにて行われた展覧会のカタログ。

キュレーター：港千尋

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



ヘリ・ドノ展：映しだされるインドネシア

Editor(s):

古市保子、石神森、帆足亜紀

Article(s):

逆さまの思考でロジックを見つめる

ヘリ・ドノ

風変わりなダラン、ジャワの手仕事師、ロー・テクの魔術師

アピナン・ポーサヤーナン

コンテキスト（文脈）

ジム・スパンカット

ヘリ・ドノのパラドクス—矢と短剣クリス

デヴィッド・エリオット

Publisher(s):

国際交流基金アジアセンター

2000

Dates:

2000年10月14日 - 11月18日

国際交流基金フォーラムにて行われた展覧会のカタログ。

キュレーター：アピナン・ポーサヤーナン

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アジアinコミック展：私たちはどこへ行くのか？

Publisher(s):

国際交流基金アジアセンター

2001

Dates:

2001年1月13日 - 2001年2月10日

国際交流基金フォーラムにて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アトゥール・ドディア：ボンベイ：迷宮／実験室

Editor(s):

古市保子、帆足亜紀、廣瀬就久

Article(s):

迷路／実験室：ボンベイを製造する、アトゥール・ドディアのスタイル
ランジット・ホスコテ
アトゥール・ドディア：誠実なる不純さについて
林道郎
断片から多元的なものへ：アトゥール・ドディアの芸術
スィターンシュ・ヤシャスチャンドラ

Publisher(s):

国際交流基金アジアセンター
2001

Dates:

2001年6月30日 - 2001年8月4日

国際交流基金フォーラムにて行われた展覧会のカタログ。
キュレーター：ランジット・ホスコテ

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アンダー・コンストラクション：アジア美術に新世代

Editor(s):

片岡真実、飯田志保子、佐山由紀、古市保子、帆足亜紀、堀田環

Article(s):

コンテンポラリーの再建
パトリック・D・フローレス
アンダー・コンストラクションとローカリゼーションについて
クリッティヤー・カーウィーウォン
墨汁とマニラ封筒：アートとグローバル・メディアに関する3つの瞑想
ランジット・ホスコテ
アジアの現在：アンダー・コンストラクション？
アスムジョ・ジョノ・イリアント
対話に向かうアプローチ、アジアより
神谷幸江
進行形アジアを越えて－アンダー・コンストラクション総合展
片岡真実
オアシスを求めて
キム・ソンジュン
狂想曲：日常生活の想像に向けて
ピー・リー
『対』から『即』へーアジア美術の可能性への一考察
山本淳夫
アジア：協働空間の可能性
古市保子

Publisher(s):

国際交流基金アジアセンター
2002

Dates:

ローカル展1「樹海より」： 芦屋市美術博物館 2001年10月20日－2001年11月25日
ローカル展2「ファンタジア」： スペースimA（ソウル） 2001年11月7日－2001年12月9日
ローカル展3「ドリーム・プロジェクト」： ファブリック。ギャラリー（バンドウン） 2002年2月1日－2002年3月1日
ローカル展4「クラフティング・エコノミーズ」： フィリピン文化センター・ギャラリー（CCP） 2002年2月5日－
2002年3月17日
ローカル展5「クリッキング・イントゥ・プレイス」： 2002年2月9日－2002年2月28日
ローカル展6「ご迷惑をおかけします」： 2002年2月23日－2002年3月30日
ローカル展7「狂想曲」： 2002年3月2日－2002年3月30日
総合展「アンダー・コンストラクション」：2002年12月7日－2003年3月2日

芦屋、ソウル、バンドウン、マニラ、北京、ムンバイ、バンコク、および東京で行われた展覧会のカタログ。
キュレーター：パトリック・D・フローレス、クリッティヤー・カーウィーウォン、ランジット・ホスコテ、アスムジョ・ジョノ・イリアント、神谷幸江、片岡真実、キム・ソンジュン、ピー・リー、山本淳夫

同時開催：[国際シンポジウム2002「流動するアジアー表象とアイデンティティ」](#)

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。

現代の東南アジア美術：それぞれの視点



Editor(s):
シンガポール美術館（ジョアンナ・リー、エイリーン・クー）

Article(s):
本展企画にあたって
ジョアンナ・リー

Publisher(s):
シンガポール美術館、国際交流基金アジアセンター
2003

Dates:
多摩美術大学美術館：2003年7月11日 - 2003年9月7日
福岡アジア美術館：2003年12月18日 - 2003年3月7日

東京及び福岡で行われた展覧会のカタログ。
キュレーター：ジョアンナ・リー

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



Have We Met?—見知らぬ君へ

Editor(s):
古市保子、雀敬華、河野晴子

Article(s):
knots not notes—思考の破片
アデ・ダルマンワン
親愛なるアジアへ—どこかでお会いしたことがありますか？
河野晴子
私たちはすでに出会っているのだろうか？それぞれの物語は語り合えたのだろうか？そして、互いに恋に落ちるのだろうか？
プージャ・スード
僕の同時代人たちはすべて空港にいる
プラープター・ユン

Publisher(s):
国際交流基金
2004

Dates:
2004年12月10日 - 2005年1月30日

国際交流基金フォーラムにて行われた展覧会のカタログ。
キュレーター：アデ・ダルマワン、河野晴子、プージャ・スード、プラープタ・ユン

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アウト・ザ・ウィンドウ

Editor(s):
古市保子、雀敬華

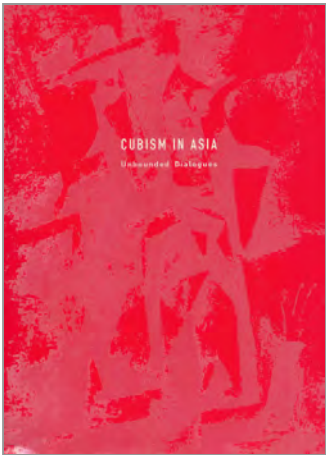
Article(s):
三国志新釈
李振華
混沌と自由
ソ・ジンソク
散漫な空間
住友文彦

Publisher(s):
国際交流基金アジアセンター
2004

Dates:
国際交流基金フォーラム：2004年1月10日 - 2月15日
プロジェクトスペースZip：2004年3月30日 - 5月13日

東京及びソウルにて行われた展覧会のカタログ。
キュレーター：李振華、ソ・ジンソク、住友文彦

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アジアのキュビズムー境界なき対話

Editor(s):

東京展カタログ：三輪健仁、鈴木勝雄（東京国立近代美術館）、古市保子（国際交流基金）

Article(s):

アジアのキュビズム

建畠哲

ネイションー国民の創生

後小路雅弘

オン・ザ・テーブルー生物の実験

林道郎

キュビズムにおける身体

松本透

『複製の近代性』の交渉ーアジア美術におけるキュビズムとの出会い

アフマド・マシャディ

崇高なもの、神聖なものを案出する

ジョイス・ファン

キュビズムと戦争

雀銀珠

母と子

金仁恵

Publisher(s):

東京国立近代美術館、国際交流基金

2005

Dates:

東京国立近代美術館：2005年8月9日 - 2005年10月2日

徳寿宮美術館：2005年11月11日 - 2006年1月30日

シンガポール美術館：2006年2月18日 - 2006年4月9日

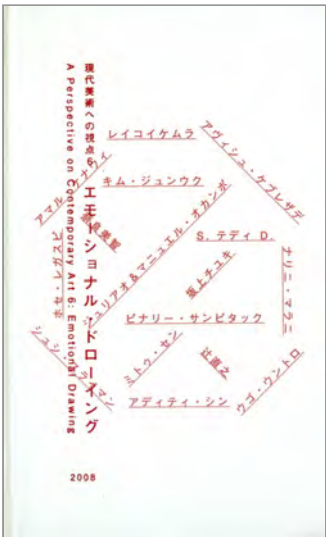
パリ文化会館：2007年5月16日 - 2007年7月7日

東京、ソウル、シンガポール、パリにて行われた展覧会のカタログ。

キュレーター：建畠哲、後小路雅弘、林道郎、松本透、三輪健仁、古市保子、雀銀珠、金仁恵、アフマド・マシャディ、ジョイス・ファン

関連企画：[国際シンポジウム2005「アジアのキュビズムー境界なき対話」](#)

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



エモーショナル・ドローイング：現代美術への視点6

Editor(s):

保坂健二郎、中村麗子（東京国立近代美術館）、古市保子、鈴木慶子（国際交流基金）

Article(s):

エモーショナル・ドローイングについて

保坂健二郎

Publisher(s):

東京国立近代美術館、国際交流基金

2008

Dates:

東京国立近代美術館：2008年8月26日 - 2008年10月13日

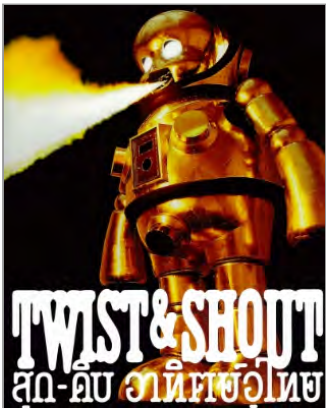
京都国立近代美術館：2008年11月18日 - 2008年12月21日

ソウル・オリンピック美術館（SOMA）：2009年2月19日 - 2009年4月19日

東京、京都、ソウルにて行われた展覧会のカタログ。

キュレーター：保坂健二郎、中村麗子

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



ツイスト・アンド・シャウト：現代日本美術展

Editor(s):

古市保子、鈴木慶子

Article(s):

Getting Past Twist & Shout

窪田研二

Shout Back & Adapt Quietly

Pendawee Nophaket Mamont

Hope at the 'End of the World' and Recapturing the 'Lost Humanity'

能勢陽子

Art as a Consolation

ピチャヤー・エイム・スパワーニット

Publisher(s):

国際交流基金

2009

Dates:

バンコク芸術文化センター：2009年11月20日 - 2010年1月10日

バンコクにて行われた展覧会のカタログ。

キュレーター：窪田研二、能勢陽子、Pendawee Nophaket Mamont、ピチャヤー・エイム・スパワーニット

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



Media/Art Kitchen: Reality, Distortion, Field

Editor(s):

服部浩之、鈴木慶子、古市保子

Article(s):

Festival as an Event and Criticism

アデ・ダルマンワン

Media/Art kitchen Jakarta

M・シギット・ブディ・S

Constructing an Alternative Institution for Media Art

岡村恵子

Media/Art kitchen Kuala Lumpur: extra/ordinary

アデリーン・オイ

extra/ordinary (re)connections

スージー・スレイマン

The Contexts for Workshops in Media/Art Kitchen

会田大也

SENSORIUM for Media/Art Kitchen: Reality Distortion Field Manila

ダヤン・ヤラオーラ

Tropical Storms and the D-I-Y

リアン・ラディア

The Dynamism of Collaboration and Dispersal

服部浩之

Media Shapes Mind: Mind Shpaes Choice: Choice Shapes Future

ピチャヤー・エイム・スパワーニット

Realising M/AK Bangkok Activities

ニカン・パウ・ワシノンド

Modes of Collaboration and Their Whereabouts

服部浩之

Reconsdiering Film and Video Art in Southeast Asia

シャーマイン・トウ

Media Art in Vietnam

ウィン・チン・ティ

M/AK: A Methodology of Media Environment Design

服部浩之

Kitchen Laboratory: Get Ready for theNext Experiment

古市保子

Publisher(s):

国際交流基金

2014

Dates:

インドネシア国立美術館キネフォーラム（ジャカルタ）：2013年9月5日 - 15日

ブラック・ボックス マップKL、アート・ロウ パブリカ（クアラルンプール）：2013年10月6日 - 20日

アヤラ美術館、98BCOLLABoratory、グリーン・バパイヤ・アート・プロジェクト、ペニルデ美術学校（マニラ）：2013年11月8日 - 24日

バンコク芸術文化センター：2013年12月21日 - 2014年2月16日

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



他人の時間

Editor(s):

橋本梓、村上樹里、佐野明子、古市保子

Article(s):

分かちあえない時間を巡るいくつかの考察

雀敬華

他人の時間のために

橋本梓

他者性の場所：グローバルな時代における東南アジアの美術

ミシェル・ホー

他人の時間と、差異から露呈してくる複数の現実
ルーベン・キーハン

Publisher(s):
東京都現代美術館、国際交流基金アジアセンター、国立国際美術館、シンガポール美術館、クイーンズランド州立美術館 | 現代美術館
2015

Dates:
東京都現代美術館：2015年4月11日 - 6月28日
国立国際美術館：2015年7月25日－9月23日
シンガポール美術館：2015年11月19日－2016年2月28日
クイーンズランド州立美術館 | 現代美術館：2016年6月11日 - 9月18日（仮）

東京、大阪、シンガポール、ブリスベンにて行われた展覧会のカタログ。
キュレーター：雀敬華、橋本梓、ミシェル・ホー、ルーベン・キーハン

*この書籍は[JFICライブラリー](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。

展覧会図録 [福岡市美術館・福岡アジア美術館]



福岡市美術館開館記念 近代アジアの美術—インド・中国・日本— 構成

Editor(s):

福岡市美術館

Article(s):

小池 新二

アジア美術展第1部「近代アジアの美術—インド・中国・日本—

ラクシミ・P・シハーレ

近代インド美術の100年

中華人民共和国中国展覽公司

中国における近代および現代の絵画発展の概要

河北 倫明

近代の日本美術

Publisher(s):

福岡市美術館

1979

Dates:

1979年11月3日-12月2日

福岡市美術館開館記念展として開催された展覧会のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



福岡市美術館開館1周年記念特別展 アジア美術展第2部 アジア現代美術展

Editor(s):

福岡市美術館

Article(s):

スタンレイ・キリンデ

スリランカの現代絵画

アニス・ファルーキ

インドの現代美術

ナラヤン・バハドゥール・シン

ネパール美術の50年

スワスディ・タンティスク

タイの現代美術

レッザ・ピヤダサ

近代マレーシアの美術

サイード・アマッド

バングラデッシュの現代美術

中華人民共和国中国展覽公司

中国現代美術の概要

サネント・ユニマン

動き続けるインドネシア美術

李 逸

韓国の現代美術

チャオ・ウェン・ヤン

シンガポールの現代美術

乾 由明

現代日本の美術

レイモンド・R・アルバノ

今日のフィリピン美術:若くて発展的な

Publisher(s):

福岡市美術館

1980

Dates:

1980年11月1日-30日

福岡市美術館にて開催された展覧会のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アジア現代作家シリーズⅠ　ロベルト・フェレオ展

Editor(s):

福岡市美術館

Article(s):

ロベルト・フェレオ

メッセージ

後小路　雅弘

明るい不幸——“フィリピン”をめぐる切実な問い

クリスティーナ・T. スビド

フェレオ芸術における意味の重層

Publisher(s):

福岡市美術館

1988

Dates:

1988年1月26日-3月13日

福岡市美術館にて開催された展覧会のカタログ。個展シリーズ第1弾。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



福岡市美術館10周年記念　第3回アジア美術展—日常のなかの象徴性—

Editor(s):

福岡市美術館

Article(s):

副島　三喜男

「アジアらしさの世界」をさぐる

Publisher(s):

福岡市美術館

1989

Dates:

1989年7月6日-8月13日

福岡市美術館にて開催された展覧会のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



タン・チン=クアン「陳振権」展：マレーシア—悲劇の舞台・美術

Article(s):

タン・チン=クアン

画が人を驚かさなければ、死んでも安じられない！

柴田勝則

悲劇の舞台芸術

Publisher(s):

福岡市美術館

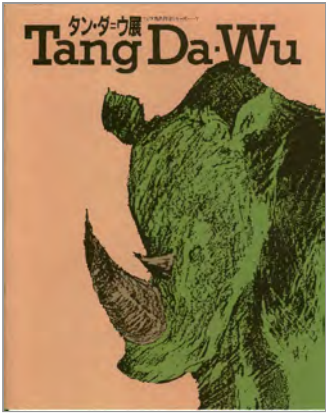
1990

Dates:

1990年12月11日-1991年2月11日

福岡市美術館にて開催された第4回アジア現代作家シリーズ展のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)で閲覧できます。



アジア現代作家シリーズⅤ
タン・ダ=ウ展 シンガポルー民族と自然のはざまで

Editor(s):
福岡市美術館

Article(s):
タン・ダ=ウ
メッセージ
都築 悦子
民族と自然のはざまで

Publisher(s):
福岡市美術館
1991

Dates:
1991年9月10日-11月10日

福岡市美術館にて開催された第5回アジア現代作家シリーズ展のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)で閲覧できます。



福岡市美術館所蔵によるアジア現代美術展

Editor(s):
那覇市
福岡市美術館

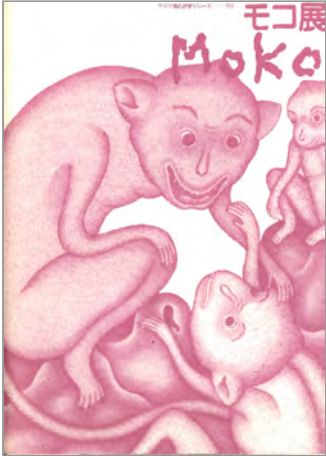
Article(s):
後小路 雅弘
内なるアジアへ

Publisher(s):
那覇市文化局文化振興課
1991

Dates:
1991年9月17日-10月6日

那覇市制70周年記念展として那覇市民ギャラリーで開催された展覧会のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アジア現代作家シリーズⅧ モコ展一バリ: 〈パラダイス〉の窃視

Editor(s):
都築 悦子
福岡市美術館

Article(s):
イ・デワ・プトゥ・モコ
アーティスト・メッセージ
都築 悦子
バリー 〈パラダイス〉の窃視

Publisher(s):
福岡市美術館
1995

Dates:
1995年3月14日-4月23日

福岡市美術館にて開催された第8回アジア現代作家シリーズ展のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



第4回アジア美術展―時代を見つめる眼：多様な現実の諸相

Editor(s):

福岡市美術館

Article(s):

副島 三喜男

出品作家作品の選考経過について

後小路 雅弘

態度としてのリアリズム―90年代のアジア美術

黒田 雷児

街のヘンなもの―三人の在日日本人アーティスト

サリマ・ハシミ

イスラム世界の女性芸術家たち―パキスタンからの最新展望

崔 泰晩

疎通としてのリアリズム―韓国の民衆美術

グエン・クアン

ベトナム現代美術の概念―伝統と変容する文化

ヌーセー・ブマチャン

ラオスの現代美術

Publisher(s):

世田谷美術館

1994

Dates:

福岡市美術館：1994年9月10日-10月16日

箱根・彫刻の森美術館：1995年1月1日-2月12日

秋田総合生活文化会館、アトリオン美術展示ホール：1995年2月17日-3月21日

世田谷美術館：1995年4月5日-5月14日

福岡、神奈川、秋田、東京の4都市を巡回した展覧会のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アジア現代作家シリーズX ハン・ティ・ファム展 ベトナム×アメリカーわが身を奪還せよ！

Editor(s):

福岡市美術館

黒田 雷児

Article(s):

ヌ・イエウ ヌ・イエウ

作家のことば

マーゴ・マチダ

追放者の意識―ハン・ティ・ファムの写真について

黒田 雷児

透明な武装―アジア×アメリカ×日本

Publisher(s):

福岡市美術館

1997

Dates:

1997年2月4日-3月30日

福岡市美術館にて開催された第10回アジア現代作家シリーズ展のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



アジアの美術：福岡アジア美術館のコレクションとその活動

Author(s):

後小路 雅弘

黒田 雷児

ラワンチャイクン寿子

Publisher(s):

東京：美術出版社

1999

Dates:

N/A

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



第1回福岡アジア美術トリエンナーレ1999 「第5回アジア美術展」

Editor(s):

福岡アジア美術館

Article(s):

黒田 雷児

テーマ「コミュニケーションー希望への回路」について

後小路 雅弘

コミュニケーション／コミュニティ／コラボレーション

金毓清

中国現代美術について

黒田 雷児

閉塞の時代におけるコミュニケーションの冒険

チェ・ウンジュ

韓国現代美術の多元性と「コミュニケーション」問題

オーチル・ソソル

モンゴル美術の今日

石瑞仁

新たな1000年への輝く展望ー台湾美術界の現在と未来

ハシム・モハメド・ジャディド

ブルネイの現代美術の現場

リ・ダラプース&イングリッド・ムアン

カンボジアの現代美術ー基盤づくりへの困難な探求

ジム・スパンカット

政治的に正しい美術作品を求めて

カンハ・シクナボン

ラオスの美術ー過去の伝統から現代生活へ受け継がれたもの

ニランジャン・ラジャー

世界の終わり？ー20世紀最後のマレーシア美術

テリー・リー&ミン・チャン・ウィン

ミャンマーの現代美術シーン

イシドロ・ヒルダワ・ジュニア

フィリピンの現代美術（1994-1998）の概説

アーマド・マシャディ

外国の美術ー国際的・国内的なコミュニケーション

ソンボーン・ロドボーン

タイにおける現代アートシーンについて

ルー・イエン

ベトナム近代美術素描

スビル・チョードリー

バングラデッシュの美術ー90年代の美術家の傾向

ミナク・トゥルク

ブータンの美術

ルピナ・カロデ

現代インド美術の新しい兆しと方向

ウッタム・ネパリ

ネパールの現代美術ーひとつの視点

サリマ・ハシミ

回顧と展望ー90年代のパキスタン美術

D. M. グナラトナ

生き続ける遺産ースリランカ現代美術状況

中村 英樹

コミュニケーションによる内部対話的自己へ

チョン・ジュンモ

アジアの新たな価値創出のための試金石

清水 敏男

アジア美術のためのコミュニケーション

後藤 新治

「アジア美術」は語ることができるか

Publisher(s):

福岡アジア美術館

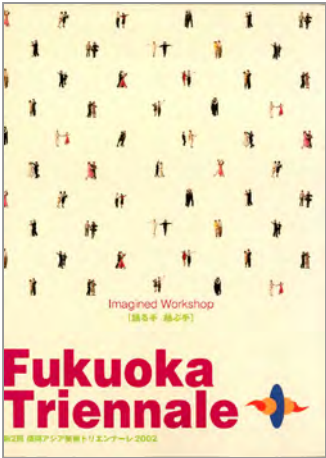
1999

Dates:

1999年3月6日-6月6日

福岡アジア美術館の開館記念展として福岡アジア美術館、博多リバレイン内および周辺地域にて行われた展覧会のカタログ。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



第2回福岡アジア美術トリエンナーレ2002 語る手 結ぶ手

Editor(s):

中尾智路
山木裕子
近藤和代

Article(s):

後小路 雅弘
コラボレーションと手わざ
中村 英樹
手は本当に語り、結び合うか？
ジム・スパンカット
インドネシア美術に見るコラボレーション
北澤 憲昭
手の記憶
後藤 新治
手・工房・ジェンダー
リー・ユーリン
些細だけれど大切ないくつかのこと

Publisher(s):

福岡アジア美術館
2002

Dates:

2002年3月21日-6月23日

福岡アジア美術館全館および周辺地域にて行われた展覧会のカタログ。「語る手 結ぶ手」をテーマに、アジア21ヶ国・地域の現代美術を紹介。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



第3回福岡アジア美術トリエンナーレ2005 多重世界

Editor(s):

福岡アジア美術館

Article(s):

黒田 雷児
紛争と扮装―「多重世界」に飛び込む
松浦 仁
多重世界―「第3回福岡トリエンナーレ」の交流プログラムについて
中村 英樹
＜内なる他者＞が世界を救う
毛利 嘉孝
トランス＝アジア的な美術の登場―統合と分断のはざま
岡部 あおみ
国際展と福岡アジア美術トリエンナーレーポスト・ゼーマンのキュレーション
郭建超
ある調査の弁論―福岡アジア美術トリエンナーレ
サリマ・ハシミ
南アジアを網羅する

Publisher(s):

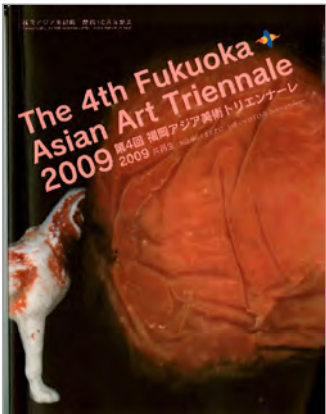
福岡アジア美術館
2005

Dates:

2005年9月17日-11月27日

福岡アジア美術館にて行われた展覧会のカタログ。「多重世界」をテーマに、アジア21ヶ国・地域の現代美術を紹介。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



福岡アジア美術館 開館10周年記念 第4回福岡アジア美術トリエンナーレ 共再生―明日をつくるために

Editor(s):

福岡アジア美術館
山本裕子

Article(s):

黒田 雷児
（アジア美術の）明日は、どちらだ？
五十嵐 理奈
福岡トリエンナーレの幕が開くまでに―現地調査と選考過程について
中尾 智路

交流プログラムー不測の旅へ
中村 英樹
両立するミクロとマクロの視点
後小路 雅弘
ひとつの世界観の終わりに
藤 浩志
違和感と関係性の連鎖と社会システム
プージャ・スード
地道な歩み、競争ではなく
フォン・ボイ
混生するアジアの空間
遠藤 水城
無力の美学を超えてー村上隆以降の日本のアートシーン
南條 史生
福岡アジア美術館 アジアの美術と世界
キャロライン・ターナー
未来を想像することー過去と現在とを理解すること
パトリック・D・フローレンス
比類なき世界
安永 幸一
ドキュメント:『アジア美術展』草創の頃
松浦 仁
福岡アジア美術館の交流事業
ラワチャイクン寿子
二つの展覧会とアジア美術館ー昨日から明日へ
山本 裕子
福岡アジア美術館のアーカイブ

Publisher(s):

福岡アジア美術館
2009

Dates:

2009年9月5日-11月23日

福岡アジア美術館全館および周辺地域にて行われた展覧会のカタログ。「共再生ー明日をつくるために」をテーマに、アジア21ヶ国・地域の美術作品を紹介。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



現代アジアの作家VI ガンゴー・ヴィレッジと1980年代・ミャンマーの実験美術

Editor(s):

福岡アジア美術館
五十嵐 理奈

Publisher(s):

福岡アジア美術館
2012

Dates:

2012年12月13日-2013年3月20日

福岡アジア美術館にて開催された展覧会のカタログ。ミャンマー最初の現代美術グループ「ガンゴー・ヴレッジ・アート・グループ」(1979-)で活躍した作家8名を紹介。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。



第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014 未来世界のパノラマーほころぶ時代のなかへ(完全記録集)

Editor(s):

五十嵐理奈
山本裕子
柏尾沙織
(福岡アジア美術館)

Article(s):

黒田 雷児
FT5の新しい試みー地域主義Xメディア発信＝?
中尾 智路
FT5テーマ 「未来世界のパノラマーほころぶ時代のなかへ」について
山本 裕子
モンゴル画の新時代
ツルテミン・ナルマンダハ
「モンゴル画の新時代」開催にあたって
バトバヤリン・ツェツェグバダム
2000年以降の伝統的なモンゴル画に見る変化
黒田 雷児

数歩前へーFT 6 に向けて

Publisher(s):

福岡アジア美術館
2015

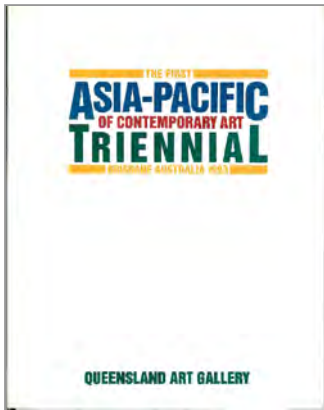
Dates:

2014年9月6日-11月30日

福岡アジア美術館が開催した「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014（FT5）」の完全記録集。アジア21ヵ国・地域の36作家の展示作品のほか、交流プログラムやFT5での多彩なイベント、FT5のために行ったアジア各地の現代美術調査記録を掲載。

*この書籍は[国立国会図書館](#)および[国立新美術館アートライブラリー](#)で閲覧できます。

展覧会図録 [The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art]



The First Asia-Pacific Contemporary Art Triennial Brisbane Australia 1993

Editor(s):

Suzanne Grano

Article(s):

Caroline Turner

Introduction: from extraregionalism to intraregionalism?

Publisher(s):

ブリスベン: クイーンズランド州立美術館
クイーンズランド・カルチュラル・センター
1993

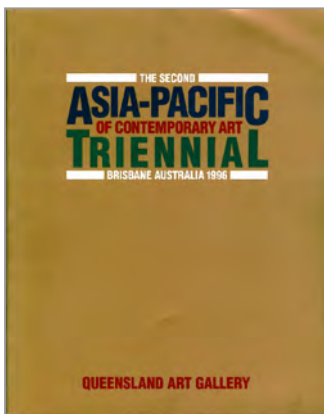
Dates:

1993年9月17日 - 12月5日

オーストラリア・アジア太平洋地域の現代美術を紹介するアート展・アジア・パシフィック・トリエンナーレ（APT）第1回展の展覧会カタログ。
言語：英語のみ

*この書籍は[国立新美術館アートライブラリー](#)および[東京国立近代美術館アートライブラリ](#)で閲覧できます。

*The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art オフィシャルサイトは[こちら](#)。



The Second Asia-Pacific Triennial of Contemporary Art Brisbane Australia 1996

Editor(s):

Caroline Turner
Rhana Devenport

Article(s):

Caroline Turner

Present Encounters: Mirror of the Future

T. K. Sabapathy

Developing Regionalist Perspectives in South-East Asian Art Historiography

Nicholas Thomas

Contemporary Art and the Limits of Globalisation

Julie Ewington

In Time

David Elliott

A Short Walk in the Hindu Kush

Geeta Kapur

Two or Three Things About Ourselves

Pat HOFFIE

A Misfit in Nowhereland

Jim Supangkat

Contemporary Art: What/When/Where

Jonathan Mane-Wheoki

A Recentred World: Post-European/Pro-Indigenous Art from Te Moananui-a-Kiwa/The South Pacific

Alison Carroll

Networks

Neil Manton

Australia and Asia - Uncommon Canvas

Anne Kirker

Bridging the East-West Divide

Rhana Devenport

Voices and Spaces: Shifting Dialogue and the Curatorial Process

Publisher(s):

ブリスベン: クイーンズランド州立美術館

1996

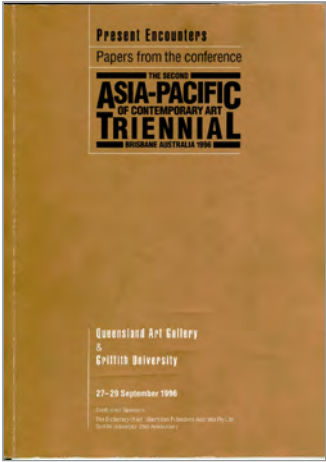
Dates:

1996年9月27日 - 1997年1月19日

オーストラリア・ブリスベンの ギャラリー・オブ・モダン・アート (GOMA) とクイーンズランド州立美術館 (QAG)にて開催された第2回アジア・パシフィック・トリエンナーレ (APT 2) の展覧会カタログ
言語：英語のみ

*この書籍は[国立新美術館アートライブラリー](#)および[東京国立近代美術館アートライブラリ](#)で閲覧できます。

*The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art オフィシャルサイトは[こちら](#)。



Present Encounters: Papers from the Conference
The Second Asia-Pacific Triennial of Contemporary Art Brisbane Australia 1996

Editor(s):

Caroline Turner

Rhana Devenport

Article(s):

Caroline Turner

Mirror of the Future: Shadows Before

Kanaga Sabapathy

Developing Regionalist Perspectives

Jim Supangkat

Contemporary Art and Multimodernism

Jonathan Mane-Wheoki

Indigenism and Globalism: 'First Nation' Perspectives in the Contemporary Art of Aotearoa/New Zealand and Te-Moananui-a-Kiwa/the Pacific

Rhana Devenport

Paradise, And Then, And Then, And Then

Fumio Nanjo

Era of an Eventful Voyage

Alison Carroll

Cultural Futures: What Will 'Cultural Exhcange' In Asia Be In 2020?

Julie Ewington

Time, Space and Discontinuity

David Williams

(Chair and Session Commentator)

Michael A. Mel

Papua New Guinea Culture: Perceptions and Realities

Ian Howard

The 'Role' of the Artist and Present Institutional Encounters

Dolorosa Sinaga

The Role of 'Contemporary Artists' in Indonesia

Niranjan Rajah

WHO Do You "Represent"? (And For Whom Do You Make Your Representations?)

Wang Youshen

The Present Situation of Contemporary Chinese Art (Ecology and Psychology)

Chumpon Apisuk

The Artist and the Social Dimension in Thailand

Martin Stuart-Fox

(Session Commentator)

Semsar Siahaan

(Session Commentator): Individual Freedom Approaching Creative Society

Jim Vivieaere

The Art of Bottling a Ship: The Polynisation of Art

Kimio Tsuchiya

LOCUS—An Internal Time

Margo Neale

Cultural Brokerage in the Aboriginal Stockmarket—Installation Art as Social Metaphor

Nicholas Thomas

(Session Commentator)

Wong Hoy Cheong

(Session Commentator)

Deepak Ananth

Profane Illuminations

Kamin Lertchaiprasert

Beyond Belief (Spirituality and Re-investing in Tradition)

Tom Mosby

Spirituality and the Torres Strait Tradition

Anne Kirker

(Chair)

Kwok Kian Chow

Collecting and Exhibiting Asian Art at the Singapore Art Museum

Masahiro Ushiroshoji

The Asian Art Show of Fukuoka and the New Asian Art Gallery (A History of the Fukuoka Asian Art Show: When a Festival Becomes a Museum)

Soyeon Ahn

Korean Art and its Identity in the International Context

Oscar Ho Hing Kay

Hong Kong 1977: The Politics of Curating

Victoria Lynn

(Session Commentator)
Chen Yan Yin
Emotion and Art
Dang Thi Khuê
Vietnamese Women Painters—Their Role, Characteristics and Artistic Creative Potential
Kamala Kapoor
The Inner Space: Women's Art in india
Emiko Namikawa
Voice from Japanese Women Artists
Takashi Murakami
Discussion of the artist's work in the Second APT
Mark Justiniani
Discussion of the artist's work in the Second APT
Ikot (Round Trip)
Pat HOFFIE
Not So Serious (Transcultural Dialogues)
Patrick D. Flores
Popular Culture: Metaphors for Change (Making Change Popular: Making Art Change)
Enin Supriyanto
Anything Goes Pop!
Hou Hanru
Facing the Wall of the Future

Publisher(s):
ブリスベン: クイーンズランド州立美術館
1996

Dates:
1996年9月27日 - 1997年1月19日

第2回アジア・パシフィック・トリエンナーレ（APT2）にて開催されたシンポジウム記録集。
言語：英語のみ

*この書籍は[国立新美術館アートライブラリー](#)および[東京国立近代美術館アートライブラリ](#)で閲覧できます。
*The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art オフィシャルサイトは[こちら](#)。



The Third Asia-Pacific Triennial of Contemporary Art "Beyond the Future"

Editor(s):
Jennifer Webb
Julie Walsh
Robyn Ziebell

Article(s):
Caroline Turner
Journy without Maps: The Asia-Pacific Triennial
Rhana Devenport
The APT3 Curatorial Process: Negotiating Cultural Moments
Hung Zhuan
The Third Way; Is Chinese Contemporary Art in the 1990s Faced with Another Choice ?
Oscar Ho Hing Kay
Hong Kong:Journey to the Past
Claire Roberts
Personal Languages: Contemporary Art from China and Hong Kong
Huang Du
Li Yongbin
Bridget L. Goodbody
Wilson SHIEH
Hou Zhual
XU Tan
Hou Hanru
YIN Xiuzhen
Claire Roberts
ZHANG Peili:Endless Dancing and Other Works
Michael Brand and Gulammohammed Sheikh
Contemporary Art in India: A Multi-Focal Perspective
Aditi de
N. S. Harsha: Questions of a Quest
Karlala Kapoor
Rummana HUSSAIN: A Space for Healing
Chaitanya Sambrani
Surendran NAIR: Of Iconicity and Truth
Alay J. sinha
"Ravinder REDDY: The Heterogeneeus Aesthdcs of
Jim Supangkat
Indonesian Contemporary Art
M.Dwi. Marianto
Art and the Vernacular: A Collision of Two Languages
JulieEwington
Indonesia in Process
JulieEwington
Mella JAARSMA: The Problem of Location
Adi Wicaksono

MOELYONDO
Asmudjo Irianto
Tisna SANJAYA: The Monument of Thirty-three Years of Thinking with the Knee
M.Dwi. Marianto
S. TEDDY D.: Tangram and the Art of Meaning
Eriko Osaka
Japan
Caroline Turner
Japan: The Intersection of Past and Future in a Decade of Uncertainty
Eriko Osaka
Shigeaki IWAI
Eriko Osaka
Katsushige NAKAHASHI
Hitoshi Dehara
Masato NAMAKURA
Zainol Abidin Bin Ahmad Shariff and Shahnaz Said
Contemporary Malaysian Art Now
David Williams and Susan Herbert
Malaysia: A Third Dimension
Laura FAN
Fatimah CHIK
J. Anu
TAN Chin Kuan
Huzir Sulaiman
I-Lann YEE
Susan Cochrane
Pacific-ness
Margo Neale
Pacific: A Place to Stand
Emmanuel Kasartherou
New Caledonia: The Path of the Future is Lit by the Values of the Past
Dionissia Giakoumi
Paula BOI
Sandra Maillot Win-Nemou
Norman SONG
Timothy Morrell and Margo Neale
New Zealand: An Overview
Allan Smith
Bill Hammond
Robert Leonard
Michael Parekowhai: Ten Guitars
Lisa Taouma
TAHIONO Arts Collective: Alter-ed States and the Work of the Tahiono Collective
Michael A. Mel
Representing a Place/ Embodying a People
Michael A. Mel
Lawrence Purtang and Artists from New Ireland Province: Cargoes - A Cult for the Next Millenium
Maretta Kula Semos
Ruth Sari and Aketauka Sori Mama Group: Bilong Ol Meri
Eva Raabe
Daniel WASWAS
Salima Hashmi
Pakistan
Alison Carroll
A Fractured Whole: Pakistan; South Asia and the Triennial
Salima Hashmi
Iftikhar and Elizabeth DADI
Salima Hashmi
Mohammad Imran Qureshi
Patrick D. Flores
Salvation History: The Philippines Country Report
Pat Hoggle
Co-Curating for the Philippines : To Make Meaning Tremble
Flaudette May V. Datuin
Alfredo and Isabel AQUILIZAN: Home; Family; Journey
Patrick D. Flores
Agnes ARELLANO
Patrick D. Flores
Roberto FELEO
LEE Weng Choy and Suhanya Raffel
Representations of Singapore
Susie Lingham
Amanda HENG: In Her Image
LEE Weng Choy
LEE Wen
Soyeon Ahn
Korean Art in the 1990's: Finding Ways Within the Maze of Globalisation
Anne Kirker
Anne Kirker
Soyeon Ahn
HAN Myung-Ok
Anne Kirker
KIM Soo-Ja
Young Chul Lee
KIM Young-Jin
Sharmini Pereira and Suhanya Raffel
Points of View: Sri Lankan Contemporary Art in the 1990's
Sharmini Pereira
Tissa DE ALWIS
Suhanya Raffel

Jagath WEERASINGHE: Embodied Terror - Yantra Gala and the Round Pilgrimage

Yulin Lee

Taiwan: An Island of Legacies

Deborah Hart

Beyond the Future: A Dreamscape of Mind

Yulin Lee and Deborah Hart

HSIA Yan: Portraits and self-portraits

Deborah Hart

Mali WU

Somporn Rodboon

The Contemporary Art Scene in Thailand

Rhana Devenport

Thailand: Sites of Agency

Khetsirin Knithichan

Bundith PHUNSOMBATLERT

Somporn Rodboon

Pinaree SANPITAK

Rhana Devenport

Natee UTARIT: 'Appearance and Reality'

Dang Thi Khue

Contemporary Vietnamese Art: A New Stage

Ian Howard

Scaling History and the Long View Back Home

Dang Thi Khue

NGUYEN Minh Thanh

Dao Minh Tri

NGUYEN Trung Tin

Nguyen Xuan Tiep

VU Thang

Lynne Seear

What you See and What you Get: Australian Artists in 'Beyond the Future'

Rex Butler

Australian Art History and Revisionism

Nicholas Thomas

Gordon Bennett: The Body's Names: Gordon Bennett's 'Notes to Basquiat'

Margo Neale with Karen Casey

Karen CASEY: A Moment Out of Time

Doug Hall

Helga GROVES

Lynne Seear

Guan Wei: The View from the Master's Chair: Guan Wei's Feng Shui

Vivien Johnson

Michael Nelson JAGAMARA

Morris Low

Tim Johnson: Translating Other Cultures

Caroline Turner

Crossing Borders

Fumio Nanjo

Toward New Fields

Hou Hanru

On the Midground: Chinese Artists; Diaspora and Global Art

Margo Neale

Pacific Crossings

Jim Supangkat

Brahma Tirta Sari Studio and Utopia Batik: Towards Cultural Representation

Barbara London

CAI Guo Qiang: Chinese Tradition in a Jogging Suit

Hou Hanru

CHEN Zhen

Caroline Turner and Christine Clark

Dadang CHRISTANTO: Speaking for Humanity: Art and Social Justice

Richard Barret, Liza Lim and Judith Wright

ELISION: Transmission; A Program of Performance Events

Kajri Jain

Simryn GILL

Quddus Mirza

Durriya KAZI and David ALESWORTH: Homemade in Public

Rhana Devenport

Surasi KUSOLWONG

Judith E. Stein

LEE Mingwei

Marian Pastor Roces

Lani MAESTRO

Fumio Nanjo

Tatsuo MIYAJIMA

Claire Oboussier

Vong PHAOPHANIT

Pat HOFFIE

John Frank SABADO

Dana Friis-Hansen

Shahzia SIKANDER

Jyotindra Jain

SONABAI

Alexandra Munroe

Hiroshi SUGIMOTO: Ritual Reality

Jim Vivieaere

Michel TUFFERY and Patrice Kaikilekofe: A One Night Stand

Claire Roberts

Ah XIAN: 'China. China'. Recent Works in Porcelain

YAO Souchou

XU Bing: Frighten Heaven and Make the Spirits Cry
Bronwyn Mahoney
Beyond the Frame: The Virtual Triennial & Screen Culture
Bronwyn Mahoney
Choreographing Chaos
Gyu-Gok, kim Hong-Hee
Choi JAE-Eun: 'World Underground Project'
Geremie R. Barme
SANG Ye and Geremie BARME: Totems that are Poles Apart
Niranjan Rajah
art@faca.unimas.my: Media Art from the Faculty of Applied and Creative Arts Universiti Malaysia Sarawak
Manray Hsu
Jun-Jieh WANG

Publisher(s):
ブリスベン: クイーンズランド州立美術館
1999

Dates:
1996年9月27日 - 1997年1月19日

オーストラリア・ブリスベンの ギャラリー・オブ・モダン・アート (GOMA) とクイーンズランド州立美術館 (QAG)にて開催された第3回アジア・パシフィック・トリエンナーレ (APT₃) の展覧会カタログ
言語：英語のみ

*この書籍は[国立新美術館アートライブラリー](#)および[東京国立近代美術館アートライブラリ](#)で閲覧できます。
*The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art オフィシャルサイトは[こちら](#)。



APT 2002: Asia-Pacific Triennial of Contemporary Art

Editor(s):
Lynne Seear

Article(s):
Wu Hung
Mapping contemporaneity
John Pule
When you return
Sarah Tiffin
Montien Boonma: between the temple and the temporal
David Burnett
Eugene Carchesio: the order of decay
Julie Ewington
Heri Dono: the multiple matters of modern life
Joan Grounds
material and metonymy
Anne Kirker
Ralph Hotere: mindful 'Kaupapa'
Rhana Devenport
Yayoi Kusama: it started from hallucination
Doug Hall
Lee U-Fan: correspondences
Lynne Seear
Jose Legaspi: 'mother, utopia, burning house'
Rhana Devenport
Michael Ming Hong Lin: the painted garden
Suhanya Raffel
Nalini Malani: undertow
Anne Kirker
Nam June Paik: whimsical encounters, without end
Maud Page
Pasifika Divas: snapped up
Avril Quail
Michael Riley: the extraordinary Mister Riley (Wiradjuri)
Julie Walsh
Song Dong: the diary keeper
Suhanya Raffel
Suh Do-Ho: 'who am we?'
Lynne Seear
Howard Taylor: driven to abstraction
Hannah Fink
Forking tongues

Publisher(s):
ブリスベン: クイーンズランド州立美術館
2002

Dates:
2002年9月12日-2003年1月27日

オーストラリア・ブリスベンの ギャラリー・オブ・モダン・アート (GOMA) とクイーンズランド州立美術館 (QAG)にて開催された第4回アジア・パシフィック・トリエンナーレ（ATP4）の展覧会カタログ
言語：英語のみ

*この書籍は[国立新美術館アートライブラリー](#)および[東京国立近代美術館アートライブラリ](#)で閲覧できます。
*The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art オフィシャルサイトは[こちら](#)。

The 5th Asia-Pacific Triennial of Contemporary Art

Editor(s):
Suhanya Raffel
Lynne Seear

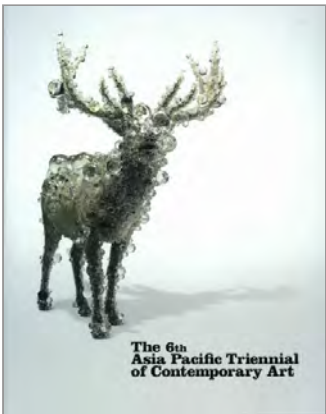
Article(s):
Doug Hall
It's all about the destiny!
Ross Gibson
Aesthetic Politics: How Political Art Works Best
Nicholas Thomas
Our History is Written in Our Mats: Reflections on Contemporary Art, Globalisation, and History
Kathryn Weir
Seeing what is (there): art and film in translation

Publisher(s):
ブリスベン: クイーンズランド州立美術館
2006

Dates:
2006年12月2日-2007年5月27日

オーストラリア・ブリスベンの ギャラリー・オブ・モダン・アート (GOMA) とクイーンズランド州立美術館 (QAG)にて開催された第5回アジア・パシフィック・トリエンナーレ（ATP5）の展覧会カタログ。
言語：英語のみ

*この書籍は[国立新美術館アートライブラリー](#)および[東京国立近代美術館アートライブラリ](#)で閲覧できます。
*The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art オフィシャルサイトは[こちら](#)。



The 6th Asia Pacific Triennial of Contemporary Art

Editor(s):
クイーンズランド州立美術館

Article(s):
Suhanya Raffel
A Restless Subject
Maud Page
Rites and Rights: Contemporary Pacific
Jose Da Silva and Kathryn Weir
Promised Lands
Kathryn Weir
The hungry goat: Iranian animation, media archaeology and located visual works
Russell Storer
The world and the studio
Miranda Wallace
Minam Apang: Tales from the Deep
Michael Hawker
Alfredo and Isabel Aquilizan
Naomi Evans
Chen Chieh-jen: On Going
Angela Goddard
Chen Qiulin: Salvaged from Ruins
Yvonne Low
Cheo Chai-Hiang: Cash Converter
Francis E. Parker
DAMP: Untitled and Indefinite
David Burnett
Solomon Enos: Polyfantastica
Suhanya Raffel
Monir Shahroudy Farmanfarmaian: Lighting for Neda
David Burnett
Sudodh Gupta: Cold War Kitchen
Suhanya Raffel
Gonkar Gyatso: Trouble in Paradise
Jose Da Silva
Kyungah Ham: Communication beyond the Unreachable Place

Russell Storer
Ho Tzu Nyen: Of the Way of the Creator
Naomi Evans
Emre Heuner: Panoptikon
Bree Richards
Raafat Ishak: Pathways in Paint
Kathryn Weir
Runa Islam: Things that are Restless and Things that are Still
Russell Storer
Ayaz Jokhio: Toward the Within
Rosie Hays
Takeshi Kitano: Fallen Hero
Ellie Buttrose
Ang Lee: Quiet! The Film is about to Start
Nicholas Bonner
Mansudae Art Studio and Art in North Korea (DPRK)
Julie Ewington
Rudi Mantofani: What is aslant and what is oblique
David Burnett
Mataso Printmakers
Richard Streitmatter-Tran
Mapping the Mekong
Ian Were
Bui Cong Khanh: Contemporary Story
Shihoko Iida
Jun Nguyen-Hatsushiba: Breathing is Free
Mellissa Kavenagh
Sopheap Pcik: 1979
Russell Storer
Manit Sriwanichpoom: The Agony of Waiting
Russell Storer
Svay Ken: Painting from Life
Richard Streitmatter-Tran
Tun Win Aung and Wah Nu: Between the Two
Mellissa Kavenagh
Vandy Rattana: Fire of the Year
Julie Ewington
Tracey Moffatt: Plantation
Abigail Fitzgibbons
Farhad Moshiri: Hybrid Confection
Micheal Hawker
Kohei Nawa: Seeing is Believing
Shihoko Iida
Shinji Omaki: Dissolving into Light
Suhanya Raffel
The One Year Drawing Project
Brent Clough
Pacific Reggae: Roots Beyond the Reef
Amanda Slack-Smith
Rithy Panh: Gestures of Protest
Angela Goddard
Reuben Paterson: Pathways through History
Francis E. Parker
Campbell Patterson: Intimate Videos
Donna McColm
Wit Pimkanchanapong: In-between Spaces
Sarah Stuchbury
Qiu Anxiong: The New Book of Mountains and Seas
Donna McColm
Kibong Rhee: There is no Place
Mellissa Kavenagh
Hiraki Sawa: Active Stillness
Bree Richards
Shirana Shahbazi: A Purely Visual Language
Ellie Buttrose
Shooshie Sulaiman: Who's Afraid of the Dark?
Russell Storer
Thukral and Tagra: Dream Merchants
Ruth McDougall
Charwei Tsai: A Space of Contemplation
Ruth McDougall
Vanatu Sculptors: Innovation and Tradition
Napong Norbert
Traditions and Rituals in North Ambrym
Nicholas Chambers
Rohan Wealleans: Rituals and Excess
Ruth McDougall
Robin White, Leba Toki and Bale Jione: A Shared Garden
Abigail Fitzgibbons
Yang Shaobin: X - Blind Spot
Jose Da Silva
Yao Jui-Chung: Wandering in the Lens
Nicholas Chambers
YNG (Yoshimoto Nara and Graf): Discovering New Worlds
Abigail Fitzgibbons
Zhu Weibing and Ji Wenyu: People Holding Flowers
Andrew Clark
Building Bridges: 10 Years of Kids' APT

Publisher(s):

ブリスベン: クイーンズランド州立美術館
2009

Dates:
2009年12月5日-2010年4月5日

「慣習の多様性」をテーマに、オーストラリア・ブリスベンの ギャラリー・オブ・モダン・アート (GOMA) とクイーンズランド州立美術館 (QAG)を中心に開催された第6回 アジア・パシフィック・トリエンナーレ (APT6)の展覧会カタログ。世界25ヵ国100名のアーティストの作品が出展。
言語：英語のみ

*この書籍は[東京国立近代美術館アートライブラリ](#)で閲覧できます。
*The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art オフィシャルサイトは[こちら](#)。



The 7th Asia Pacific Triennial of Contemporary Art

Editor(s):
クイーンズランド州立美術館

Article(s):
Suhanya Raffel
Where we stand: The Asia Pacific Triennial 20 years on
Russell Storer
Cosmologies and conversations
Maud Page
Vertical ephemerals and Pacific structures
Bruce McLean
Sustained intervention: Indigenous Australian art in the Asia Pacific Triennial
Andrew Clark and Sarah Stutchbury
Audiences and the APT
Kathryn Weir
The archive and the atlas: Cinema as repository of the everyday
Michael Wesley
Transcendence
Joan Kee
Field and stream: The terrain of contemporary Asian Art
Peter Brunt
Transcultural space and art historical consciousness
Epeli Hau'ofa
Oceania

Publisher(s):
ブリスベン: クイーンズランド州立美術館
2013

Dates:
2012年12月8日-2013年4月14日

オーストラリア・ブリスベンの ギャラリー・オブ・モダン・アート (GOMA) とクイーンズランド州立美術館 (QAG)で開催された第7回アジア・パシフィック・トリエンナーレ (APT7) の展覧会カタログ。開催20周年展であり、27ヶ国、75名のアーティストの作品が掲載。
言語：英語のみ

*この書籍は[東京国立近代美術館アートライブラリ](#)で閲覧できます。
*The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art オフィシャルサイトは[こちら](#)。



The 8th Asia Pacific Triennial of Contemporary Art

Editor(s):
クイーンズランド州立美術館

Article(s):
Maud Page & Aaron Seeto
How far can you run with the world behind you?
Reuben Keehan
Back to the slaughterhouse: Mortality and desire in APT8
Ruth McDougall
Where do we come from? What are we? Where are we going?
Tarun Nagesh
The social medium
Abigail Bernal
A world unfolds: The role of the vernacular in APT8
José Da Silva
What belongs to the present: APT8 Cinema
Russell Storer with Biljana Ciric, Sunjung Kim, Lisa Reihana and Yee I-Lann
APT8 round table
Tamsin Cull & Laura Mudge
APT8 kids

Publisher(s):
ブリスベン: クイーンズランド州立美術館
2016

Dates:
2015年11月21日-2016年4月10日

オーストラリア・ブリスベンのギャラリー・オブ・モダン・アート (GOMA) とクイーンズランド州立美術館 (QAG)で開催された第8回アジア・パシフィック・トリエンナーレ (APT8) の展覧会カタログ。
36ヶ国、83名のアーティストの作品が掲載。
言語：英語のみ

*この書籍は[東京国立近代美術館アートライブラリ](#)で閲覧できます。
*The Asia Pacific Triennial of Contemporary Art オフィシャルサイトは[こちら](#)。

展覧会図録 [シンガポール・ビエンナーレ]



Singapore Biennale 2006: Belief

Editor(s):

南條 史生
Kianwoon Kwok

Article(s):

Fumio Nanjo
The Art of Belief

Publisher(s):

シンガポール:シンガポール・ビエンナーレ事務局
2006

Dates:

Sep. 4 - Nov. 12, 2006

世界各国のアーティストの作品を集めた国際芸術祭シンガポール・ビエンナーレの図録。市内のモスクやヒンズー教の寺院をはじめ計19か所に作品が展示された。
言語：英語のみ

アーティストックディレクター：南條 史生（森美術館）



Singapore Biennale 2008 : Wonder

Editor(s):

Ben Slater
Joselina Cruz
National Arts Council (Singapore)

Article(s):

Lee Suan Hiang

Chairman's message

南條 史生

The wonder of life

Low Kee Hong

Making wonder

Jorge Luis Borges

The book of sand

Joselina Cruz

To be wrong with infinite precision

Publisher(s):

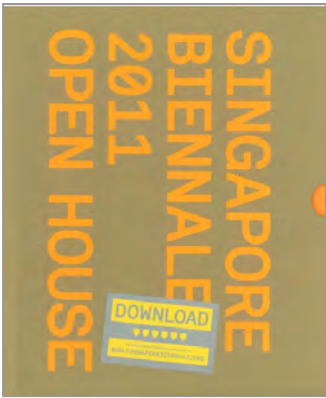
シンガポール:シンガポール・ビエンナーレ事務局
2008

Dates:

Sep. 11 - Nov. 16, 2008

「不思議・驚き（Wonder）」をテーマに開催された第2回シンガポール・ビエンナーレの公式図録。マリーナベイ、シティーホール、サウスビーチを中心に、66名のアーティストの作品が展示された。
言語：英語のみ

アーティストックディレクター：南條 史生（森美術館）
キュレーター: Joselina CRUZ, Matthew NGUI



Singapore Biennale 2011 : open house

Editor(s):
Matthew Ngui
Trevor Smith
Russell Storer
Singapore Art Museum
National Arts Council (Singapore)

Article(s):
Souchou Yao
Private Space, Public Space and the Modern Subject
Benghuat Chua
Consumption: Object, Media and Image In(di)gestion
Susie Lingham
Mediated Thresholds: Between Ideal, Image, and Experience
Matthew Mingfook Ngui, ZAI Kuning
I Will Send You to a Better Place

Publisher(s):
シンガポール: シンガポール美術館
2011

Dates:
2011年3月13日-5月15日

シンガポール美術館、シンガポール国立博物館、旧カラン空港など合計161会場で開催された「シンガポール・ビエンナーレ2011オープンハウス」の図録。第3回目となる本ビエンナーレでは、30カ国60名のアーティストが参加。
言語：英語のみ

オーガナイザー：シンガポール美術館
キュレーター: Trevor Smith, Russell Storer

Singapore Biennale 2013: if the world changed

Editor(s):
Joyce Toh
Singapore Art Museum

Article(s):
T. K. Sabapathy
The Singapore Biennale: An Introduction
Amitav Acharya
The Making of Southeast Asia: Re-Imagining a Region

Publisher(s):
シンガポール: シンガポール美術館
2013

Dates:
2013年10月26日-2014年2月16日

国立博物館（National Museum of Singapore）、シンガポール美術館（Singapore Art Museum）、プラナカン博物館（Peranakan Museum）を中心に開催された「シンガポール・ビエンナーレ2013」の図録。第4回目となる本ビエンナーレでは、「もしも、世界が変わったなら（If the World Changed）」をテーマに、32カ国82名のアーティストたちが参加した。
言語：英語のみ



Singapore Biennale 2016 : An Atlas of Mirrors

Editor(s):
Susie Lingham
Joyce Toh

Article(s):
John Miksic
Singapore, Where Eastern and Western Oceans Meet
Joan Kee
The Commons of Contemporary Southeast Asian Art
Michelle Lim
To Be Continued

Publisher(s):
シンガポール: シンガポール美術館
2016

Dates:
2016年10月28日～2017年2月26日

国立博物館（National Museum of Singapore）、シンガポール美術館（Singapore Art Museum）、プラナカン博物館（Peranakan Museum）を中心に開催された「シンガポール・ビエンナーレ2016」の図録。第5回目となる本ビエンナーレでは、「An Atlas of Mirrors」をテーマに、アジア各国から約60名/組のアーティストたちが参加した。
言語:英語のみ



「アジア思潮のポテンシャル」 報告書: 現代美術シンポジウム1994

Editor(s):

古市 保子

小林 泉

Article(s):

Western-style Painting in Japan and the Development of Modernism and the Avant-gard

Masato Ozaki

Proposals from the Present

Toshio Shimizu

The Other Side of the Other: asian Artists in the West

Raiji Kuroda

Asian Art in the Posthegemonic World

Apinan Posyananda

How Far Can an Artist's Work Be affected by the West? Cultural aspects of Western and Asian Arts

Zulkifli B. Yusoff

On Thought and Action

Cai Guo Qiang

The Possibilities and Impossibilities of Asia

Tatsuo Miyajima

Publisher(s):

東京 : 国際交流基金アセアン文化センター

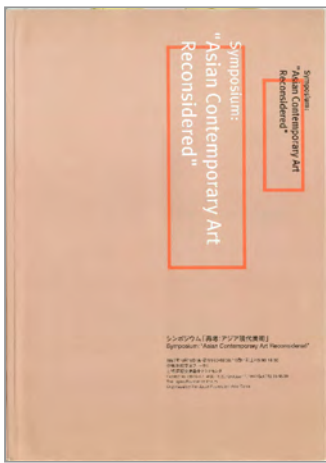
1994

Dates:

1994年10月14日-15日

国際交流基金アセアン文化センター開催した国際シンポジウム「アジア思潮のポテンシャル」の報告集。1990年代前半のアジア美術の現状把握と近代美術の検証が行われました。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)で閲覧できます。



シンポジウム「再考:アジア現代美術」 報告書

Editor(s):

古市 保子

帆足 亜紀

Article(s):

西洋の中の東洋ーアメリカにおけるアジア現代美術の紹介

ヴィシヤカ・N. デサイ

豊穰なる出会い

キャロライン・ターナー

現代美術を通しての異文化との遭遇

グレアム・マレー

S A M (Singapore Art Museum) は外国名ではない

クォク・ケン・チョウ

アジア美術館の誕生へ向けて

後小路 雅弘

近代アジア美術: その構造と受容

ジョン・クラーク

マルチカルチャリズムの罫

建畠 哲

中心の内側から外側へ

劉 虹

岐路に立つ文化の番人

アピナン・ポーサヤーナン

興業としての現代美術の可能性

村上 隆

Publisher(s):

東京：国際交流基金アジアセンター
1997

Dates:
1997年10月10日-11日

国際交流フォーラムにて開催された[国際シンポジウム「再考:アジア現代美術」](#)の報告書。キュレーターや批評家、美術家が集まり、さまざまな角度から議論を展開されました。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)で閲覧できます。



国際シンポジウム1999「アジアの美術:未来への視点」 報告書

Editor(s):
古市保子

Article(s):
イツ・ミー！:9 0 年代中国現代美術のメインテーマ
ロン・リン
新世代の感受性
ソ・ソンロク
アジアの美術を‘ディスコーシング（言説化）’する
ジム・スパンカット
世界への回帰:インド現代美術における不安と快活
ランジット・ホースコデー
アジア:根強く残る固定観念あるいはブラックホール？
デヴィッド・エリオット
なぜオーストラリアなのか？
ラーナ・デヴェンポート
オルタナティヴへの適応:シンガポールの現代美術と美術館
アフマド・マシャディ
だれが/だれに/何を/なぜ＜紹介＞するのか？
中村 英樹
アジアの美術と新千年期:グローカリズムからテクノ・シャーマニズムまで
アピナン・ポーサヤーナン
インターネット後のアジアの美術:2 0 世紀末の地域性を越えて
ニランジャン・ラジャ
個別性への眼差し
建畠 哲
座談会 90年代のアジア現代美術を振り返って

Publisher(s):
東京：国際交流基金アジアセンター
2000

Dates:
1999年8月20日-21日

国際交流フォーラムにて開催された[国際シンポジウム「アジアの美術:未来への視点」](#)の報告集。10カ国18名のパネリストが集まり、20世紀末アジアの美術状況を総括するとともに21世紀におけるアジア美術の展望について議論が交わされました。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)で閲覧できます。



国際シンポジウム2002「流動するアジアー表象とアイデンティティ」 報告書

Editor(s):
古市 保子

Article(s):
アジア：対-形象化による同一化
酒井 直樹
岡倉点心のアジア観『東洋の思想』位置
小泉 晋弥
アジア想像:その系譜的分析
ワン・ファイ
インドネシアの『アジア』
ゲナワン・モハマド
グローバリズムとその制度的虚栄
イ・ヨンウー
トロイの木馬？――国際展におけるマルチカルチュラリズム
建畠 哲
文化の規則:展示と知の政治学
トニー・ベネット
アートとズボン
デーヴィッド・エリオット
パフォーマンスにおけるインド
アンモル・ヴェラニ

張藝謀（チャン・イーモウ）の『あの子を探して』――ある移動の寓話
レイ・チョウ
シンポジウムを終えて

Publisher(s):
東京：国際交流基金アジアセンター
2013

Dates:
2002年12月13日-14日

国際交流30周年記念事業として国際交流基金国際会議場にて開催された[国際シンポジウム2002「流動するアジア―表象とアイデンティティ」](#)の内容をまとめた報告書。国内外の芸術・社会学の各分野の研究者が集まり、「アジアとは何か」について議論が交わされました。
同時開催：[展覧会「アンダー・コンストラクション:アジア美術の新世代」](#)

*この書籍は[JFICライブラリー](#)で閲覧できます。



国際シンポジウム2005「アジアのキュビズム―境界なき対話」報告書

Editor(s):
古市 保子

Article(s):
なぜキュビズムか
建畠 哲
1930年代日本におけるキュビズム評価―モダニズム、アカデミズム、アメリカ
五十殿 利治
「東洋のパリ」のキュビズム
シェン・クイ
「アジアのキュビズム」の言説的空間
ジョン・クラーク
第三の場における美術と文化―インドネシアの場合
ジム・スパンカット
人民の半透明な軌跡―フィリピンのキュビズムに見る農民とプロレタリア
パトリック・D. フローレス
南洋のモダニズム―複数の理想主義の狭間で
アフマド・マシャディ
「アジアのキュビズム」にみる女性の描き方
キム・ヨンナ
女性表象と、想像上の権力
田中 正之
アジアにみるキュビズム的肉体の獲得:「第二の故郷」
バート・ウィンザー＝タマキ
アジアのキュビズムと「物語」
後小路 雅弘
革命後のメキシコ美術に見るキュビズムの美学・叙述戦略
カレン・コルデロ・レイマン
ナラティブなキュビズム
建畠 哲
シンポジウムを終えれ

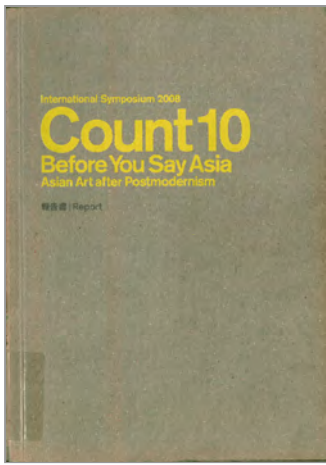
Publisher(s):
東京：国際交流基金
2006

Dates:
2005年9月10日-11日

国際交流基金フォーラムにて開催された[国際シンポジウム2002「流動するアジア―表象とアイデンティティ」](#)の内容をまとめた報告書。各国の研究者が集まり、日本も含めたアジア各国においてキュビズムの運動がいかに展開してきたについて討議されました。

[展覧会「アジアのキュビズム」](#)の関連事業として開催。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)で閲覧できます。



国際シンポジウム2008「Count 10 Before You Say Asia: Asian Art after Postmodernism」 報告書

Editor(s):

古市 保子

Article(s):

日本におけるアジアの現代美術と近代の亡霊

加治屋 健司

東南アジアのキュレーションの手法への転回と近代の残像

パトリック・D. フローレス

グローバルとローカルの狭間の中国現代美術

ファン・ディアン

文化衝突の接点にてーソ・ドホの場合

キム・ボッキ

ホアン・ヨン・ビンが攪拌する西洋と東洋

平芳 幸浩

インドとなることスボード・グプタの「局地性」

金井 直

正当性の在り処を求めて アジア的な衣服とは？ フィリピンにおけるハイブリディティとポストコロニアルのアイデ

ンティティ

フロリナ・H, カピストラノ＝ペーカー

ドローイングは「近代」を疑うー奈良美智、感情移入、ローカリゼーション

保坂 健二郎

「装飾」の政治性

田中 正之

Publisher(s):

東京：国際交流基金

2009

Dates:

2008年11月22日-23日

国際交流基金JFICホールにて開催された[国際シンポジウム2008「Count 10 Before You Say Asia —Asian Art after Postmodernism—」](#)の内容をまとめた報告書。これまでのアジア美術の言説を再検証し、将来像を導き出す作業が行われました。

*この書籍は[JFICライブラリー](#)で閲覧できます。